# 原子力災害対策重点区域

原子力災害発生時において、発電所の事故等の事態の進展に応じ、
放射性物質または放射線の異常な放出を想定し、放射線被ばくや
周辺環境への影響を低減する防護措置を短期間で効率よく行うために、
あらかじめ重点的に対策を行う地域が定められています。

## 原子力災害対策重点区域

### PAZ（Precautionary Action Zone）
**「予防的防護措置を準備する区域」（即時避難区域）**
**～原子力発電所から概ね半径5km圏※**

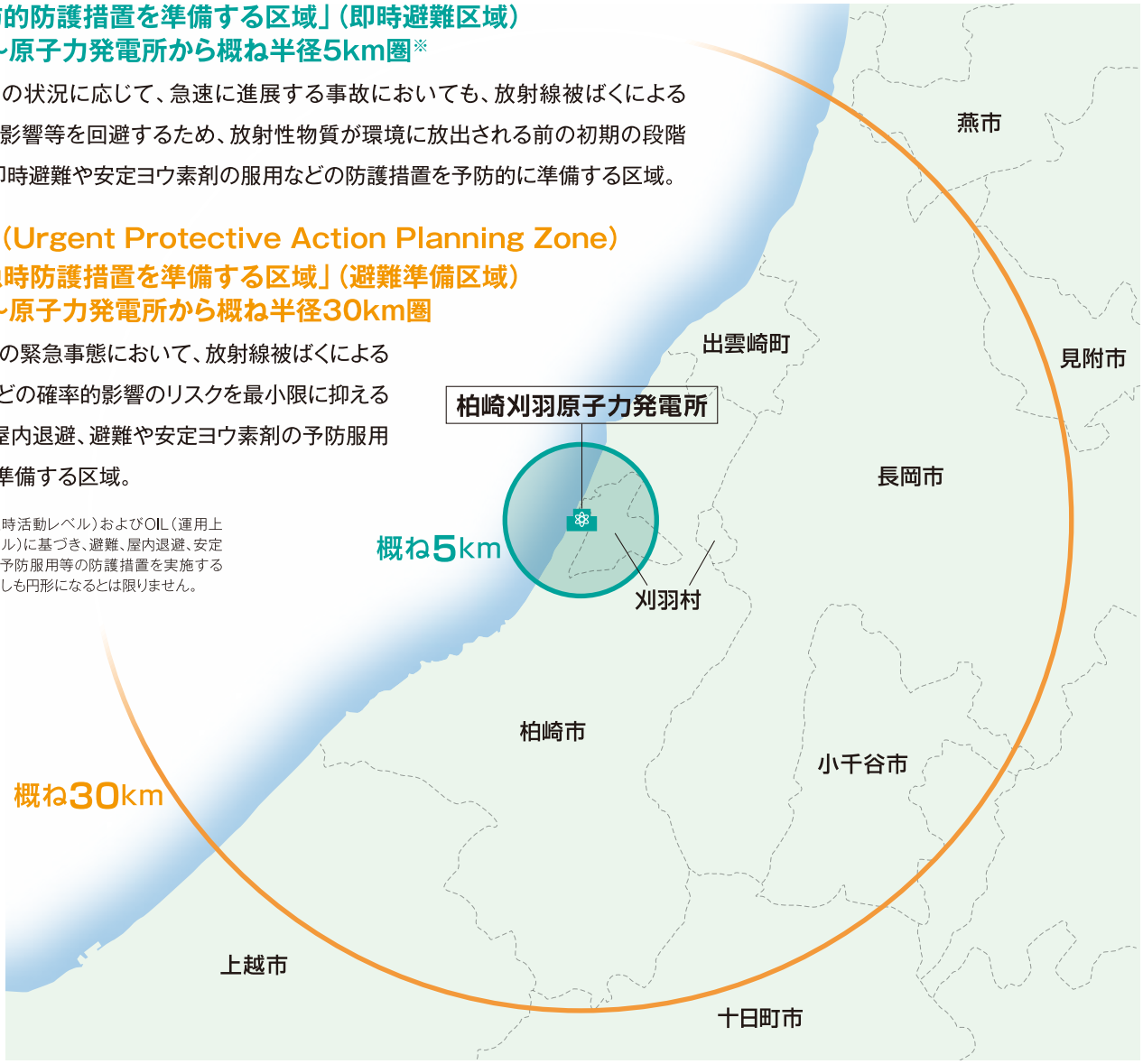
発電所の状況に応じて、急速に進展する事故においても、放射線被ばくによる確定的影響等を回避するため、放射性物質が環境に放出される前の初期の段階から、即時避難や安定ヨウ素剤の服用などの防護措置を予防的に準備する区域。

### UPZ（Urgent Protective Action Planning Zone）
**「緊急時防護措置を準備する区域」（避難準備区域）**
**～原子力発電所から概ね半径30km圏**

発電所の緊急事態において、放射線被ばくによるがんなどの確率的影響のリスクを最小限に抑えるため、屋内退避、避難や安定ヨウ素剤の予防服用などを準備する区域。

注：EAL（緊急時活動レベル）およびOIL（運用上の介入レベル）に基づき、避難、屋内退避、安定ヨウ素剤の予防服用等の防護措置を実施する範囲は必ずしも円形になるとは限りません。

【イメージ】




※柏崎市：高浜地区・荒浜地区・松波地区・南部地区・二田地区・中通地区・西中通地区の7地区
刈羽村：村内全域

出典：原子力災害対策指針（原子力規制委員会）
柏崎市防災ガイドブック（原子力災害対策編）
刈羽村防災ガイドブック　ほか

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.
無断複製・転載禁止　東京電力ホールディングス株式会社